

2026 年度
高知大学大学院総合人間自然科学研究科
農林海洋科学専攻（修士課程）（第2次）入学試験

＜ 一般選抜 ＞

専 門 科 目

（教育研究分野）作物環境調節学

問題冊子 . . . 問題（4）問（1）ページ（表紙を除く）
解答冊子 . . . 解答用紙（4）枚（表紙を除く）
下書用紙 . . . （2）枚
配 点 . . . 問題用紙に表示のとおり
試験時間 . . . 9 時 30 分～11 時 00 分（90 分）

注 意 事 項

1. 試験開始の合図まで、この問題冊子を開かないこと。
2. 配布された問題冊子の表紙に、自分が選択する教育研究分野（研究室）が書かれてあるか、確認すること。もし、違っている場合は、手を挙げて監督者に知らせること。
3. 試験開始後に、問題冊子・解答冊子・下書用紙の枚数を確認し、解答冊子の表紙及び解答用紙各頁の所定欄に受験番号を記入すること。
4. 試験中に、問題冊子・解答冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁、及び下書用紙の不備に気付いた場合は、手を挙げて監督者に知らせること。
5. 解答は、それぞれの問題番号が書かれた解答用紙の指定された箇所に記入すること。なお、解答用紙には、必要事項以外は記入しないこと。
6. 解答冊子は綴じたまま記入し、試験終了後も各ページを切り離さないこと。
7. 配布された解答冊子は、持ち帰らないこと。
8. 試験終了後、問題冊子・下書用紙は持ち帰ること。
9. 試験終了後、指示があるまでは退室しないこと。

2026 年度 高知大学大学院総合人間自然科学研究科
農林海洋科学専攻（修士課程）（第2次）入学試験問題 〈一般選抜〉

教育研究分野	作物環境調節学
--------	---------

（専門科目）

問題1 光をはじめとする環境要素が、作物の光合成に及ぼす影響について述べよ（50点）。

問題2 養液栽培に関する以下の問いに答えよ（50点）。

- （1）土耕栽培と比較した場合の、養液栽培の長所と短所を述べよ。
- （2）養液栽培において固形培地を用いる場合、どのような性質の培地が好ましいか述べよ。

問題3 施設園芸栽培における温度調節に関して、以下の問いに答えよ（50点）。

- （1）冬季のハウス内気温を適切に保つための設備や手法、留意点について述べよ。
- （2）夏季のハウス内気温を適切に保つための設備や手法、留意点について述べよ。

問題4 情報通信技術（ICT）の発達により、様々な環境センサや制御装置を用いた「スマート農業」が施設園芸において普及しつつある。これを踏まえて、以下の問いに答えよ（50点）。

- （1）施設園芸におけるスマート農業技術の一つを例示し、その利点について述べよ。
- （2）施設園芸におけるスマート農業技術の課題について述べよ。

（全1ページのうち1ページ目）